

立川高校の受検に関するQ & A

Q 1. 令和9年度入学者選抜の日程はどのようになっていますか。

A 1. 次の日程で行われます。

		書類提出期間	検査実施日	合格発表日
推薦	「普通科」 【一般推薦】	1月 8日（金） ～1月18日（月）	1月26日（火） 1月27日（水）	2月2日（火）
	「創造理数科」 【特別推薦】	1月 8日（金） ～1月18日（月）	1月26日（火） 1月27日（水）	2月2日（火）
学 力 「普通科」・「創造理数科」 【学力検査（第一次募集）】		1月29日（金） ～2月 4日（木）	2月21日（日）	3月1日（月）

Q 2. 過去3年間の募集人員と倍率を教えてください。

A 2. 過去3年間の募集人員と合格者数、倍率は次の通りです。受検者数は、当日の欠席者の分だけ応募者数より少なくなります。また、学力検査では、合格者数を募集人員より少し多くします。つまり、実質倍率（受検者数を合格者数で割った数）は、新聞紙上で発表される応募倍率より若干低くなっています。

普通科		募集人員	応募者数 (応募倍率)	受検者数 (受検倍率)	合格者数 (実質倍率)
推薦	R 8年度 男女合同	5 6	1 6 8 (3.00)	1 6 8 (3.00)	5 6 (3.00)
	R 7年度 男女合同	5 6	1 9 2 (3.43)	1 9 2 (3.43)	5 6 (3.43)
	R 6年度 男女合同	5 6	1 6 5 (2.95)	1 6 4 (2.93)	5 6 (2.93)
学力	R 8年度 男女合同	2 2 0	4 6 3 (2.10)	3 9 8 (1.81)	2 2 5 (1.77)
	R 7年度 男女合同	2 2 0	4 8 9 (2.22)	4 1 7 (1.90)	2 2 4 (1.87)
	R 6年度 男女合同	2 2 0	4 1 0 (1.86)	3 3 9 (1.54)	2 2 5 (1.51)

創造理数科 男女		募集人員	応募者数 (応募倍率)	受検者数 (受検倍率)	合格者数 (実質倍率)
特 別 推 薦	R 8 年度	6	1 2 (2.00)	1 2 (2.00)	6 (2.00)
	R 7 年度	8	9 (1.13)	9 (1.13)	5 (1.80)
	R 6 年度	8	9 (1.13)	9 (1.13)	6 (1.50)
学 力	R 8 年度	3 4	1 4 1 (4.15)	1 3 4 (3.94)	3 6 (3.72)
	R 7 年度	3 5※	1 5 8 (4.51)	1 4 7 (4.20)	3 7 (3.97)
	R 6 年度	3 4※	9 2 (2.71)	8 3 (2.44)	3 6 (2.31)

【備考】学力検査の応募者数・受検者数・合格者について

- ・（普通科の応募者数）＝（普通科と創造理数科を併願した人数）
＋（普通科のみに出願した人数）
- ・（普通科の受検者数）＝（普通科と創造理数科を併願した受検者の内、
創造理数科を不合格となった人数）＋（普通科のみに出願し、受検した人数）
- ・（創造理数科の受検者数）＝（創造理数科のみに出願し、受検した人数）
＋（普通科と創造理数科を併願し、受検した人数）

※創造理数科の募集人員は特別推薦の定員のうち、未充足となった人員を加えている（R 6 年度 2 名、R 7 年度 3 名）。

Q 3. 「普通科」と「創造理数科」の募集人員を教えてください。

A 3. 令和 8 年 1 0 月（予定）に東京都教育委員会から発表があります。

Q 4. 「普通科」の【一般推薦】と「創造理数科」の【特別推薦】の併願はできるか教えてください。

A 4. できません。どちらかを選択してください。

※【学力検査に基づく選抜】については Q 9 を参照してください。

Q 5. 「普通科」の【一般推薦】の募集人員や選抜方法、合格者の決定方法について教えてください。

A 5. ○募集人員

「普通科」の募集人員の20%を上限に募集します。

○選抜方法

令和8年度の入学選抜では個人面接と小論文を1日で実施しました。令和9年度は2日間で行う予定です（1日目が小論文、2日目が個人面接）。集団討論は、令和3～8年度は実施していません。

〈個人面接〉

個人面接は、中学校での学習やその他の活動、立川高校に入学してやりたいこと、自分の将来などについて質問します。

〈小論文〉

50分間で各設問に答えます。出題される文章や各種データを基にしながら、指定された問いに従って記述する形式です。

○合格者の決定方法

調査書の点数に個人面接と小論文の点数を加えて合格者を決定します。

調査書	個人面接	小論文	総合成績
500点	100点	400点	1000点

- ① 調査書は、「各教科の5段階評定」の合計点を、500点満点に換算します。
なお、傾斜配点は実施しません。
- ② 個人面接は、100点満点で採点をします。
- ③ 小論文は、400点満点で採点をします。
- ④ ①～③を合計して1000点満点（総合成績）として、「普通科」の【一般推薦】に応募した者のうち総合成績の高い者から、募集人数分を合格者とします。

Q 6. 「創造理数科」の【特別推薦】の募集人員や選抜方法や、合格者の決定方法について教えてください。

A 6. ○募集人員

「創造理数科」の募集人員の15%を上限に募集します。

○選抜方法

2日間で行います。1日目が個人面接と小論文、2日目が口頭試問です。

〈個人面接〉

個人面接は、中学校での学習やその他の活動、立川高校に入学してやりたいこと、自分の将来などについて質問します。

〈小論文〉

50分間で各設問に答えます。出題される文章や各種データを基にしながら、指定された問いに従って記述する形式です。

〈「科学分野等の研究に関するレポート」に関する口頭試問〉

はじめに3分程度、科学分野等の研究に関するレポート（以下、「研究レポート」とする。）について説明してもらいます。その後、研究レポートに関する質疑応答を実施します。

検査当日は、出願時に提出した研究レポートのコピーの持ち込みを認めます。

○合格者の決定方法

調査書の点数に個人面接と小論文と口頭試問の点数を加えて合格者を決定します。

調査書	個人面接	小論文	口頭試問	総合成績
500点	50点	200点	250点	1000点

- ① 調査書は、「各教科の5段階評定」の合計点を、500点満点に換算します。
なお、傾斜配点は実施しません。
- ② 個人面接は、50点満点で採点をします。
- ③ 小論文は、200点満点で採点をします。
- ④ 口頭試問は、250点満点で採点をします。
- ⑤ ①～④を合計して1000点満点（総合成績）として、「創造理数科」の【特別推薦】に応募した者のうち総合成績の高い者から、募集人数分を合格者とします。ただし、一定の水準に達していない場合、定員内であっても不合格となることがあります。

Q7. 自己PRカードについて教えてください。

A7. 「普通科」の【一般推薦】及び「創造理数科」の【特別推薦】では、出願の際に自己PRカードを提出します。自己PRカードは点数化しませんが、面接の参考資料とします。【学力検査】では出願時に提出の必要はなく、合格者のみが入学手続きの書類提出日に提出することになります。入学後の参考資料とします。書き方のポイントは、「本校の期待する生徒の姿」（2ページ）を参考にして、入学を希望する理由や中学校生活の中で得たこと、学習活動・課外活動における実績・資格等について具体的に記述することです。その際、箇条書きではなく、あなた自身の経験をあなたの言葉で表現してください。

Q 8. 「創造理数科」の【特別推薦】における研究レポートについて教えてください。

A 8. 志願者は、研究レポート（A 4 判 2 枚以内、片面に記述または印刷。様式任意）を出願時に提出します。研究レポートは点数化しません。

- (1) A 4 判の用紙は、レポート用紙、コピー用紙等を利用してください。両面不可。
- (2) 手書き、パソコン等による作成方法については特に指定しません。
- (3) 次の 6 項目を設定し、作成してください。
 - 1 研究のテーマ
 - 2 研究の背景・目的
 - 3 研究の方法
 - 4 研究の結果
 - 5 研究の考察
 - 6 今後の展望

Q 9. 【学力検査に基づく選抜】において、「普通科」と「創造理数科」を併願することができるかを教えてください。

A 9. 併願をすることができます。

次の 3 通りの出願の仕方から 1 つ選択し、出願をすることになります。

- ① 「普通科」の専願
- ② 「普通科」と「創造理数科」の併願
- ③ 「創造理数科」の専願

なお、合格者の決定の仕方については、Q10 でご確認ください。

Q10. 「普通科」と「創造理数科」の【学力検査に基づく選抜】の募集人員や選抜方法、合格者の決定方法について教えてください。

A10. ○募集人員

「普通科」の【学力検査に基づく選抜】の定員は、「普通科」の募集人員から「普通科」の【推薦に基づく選抜】の合格者を除いた人員を上限に選抜します。

「創造理数科」の【学力検査に基づく選抜】の定員は、「創造理数科」の募集人員から「創造理数科」の【特別推薦】の合格者を除いた人員を上限に選抜します。

○選抜方法

「普通科」と「創造理数科」の選抜方法は、同じです。

学力検査は、国語・数学・英語・社会・理科の 5 教科で行われます。ただし、国語・数学・英語（リスニングを除く）の 3 教科は自校作成問題です。普通科と創造理数科は、同じ問題です。英語のリスニングと社会、理科は都立高校の共通問題です。

○合格者の決定

「普通科」と「創造理数科」ともに、学力検査の得点を700点満点、調査書の得点〔(国+数+英+社+理)×1+(技家+体+音+美)×2〕を300点満点に換算したものに、『東京都立高等学校入学者選抜における東京都中学校英語スピーキングテスト(E S A T-J)』(Q16 参照)の点数(20点満点)を加えた、合計1020点満点(総合成績)とします。

学力検査	調査書	スピーキングテスト	総合成績
700点	300点	20点	1020点

次の順に合格者を決定します。

- ①「創造理数科」のみに出願した者及び「普通科」と「創造理数科」を併願した者から、総合成績の高い順に「創造理数科」の合格者を決定します。
- ②「普通科」のみに出願した者及び「普通科」と「創造理数科」を併願したが「創造理数科」に不合格となった者から、総合成績の高い順に「普通科」の合格者を決定します。

Q11. 自校作成問題について教えてください。

A11. 立川高校では進学を重視した学校として一層充実した教育を行います。そのために基礎・基本の定着を確認することに加え、思考力、判断力、応用力、表現力等を併せてみることができるよう、国語・数学・英語(リスニングを除く)については自校作成問題で学力検査を実施しています。

Q12. 進学指導重点校の自校作成問題に対し、どのような対策を取って勉強したらよいかわ教えてください。

A12. 問題は、東京都の共通問題と同様に中学校で学ぶ範囲から出題されますので、基礎・基本をしっかりと理解して臨むことが大切です。特別な知識を必要とすることはありませんが、思考力、判断力、応用力、表現力が重視されますので、共通問題に比べて記述式が多くなります。

また、本校の過去問題だけでなく、他の進学指導重点校の自校作成問題の過去の問題を実際に自分で解き、傾向に慣れることも大切です。

さらに、共通問題である理科・社会については、高得点が見込まれます。こちらも過去の問題を中心にしっかりと対策を立てましょう。最後まで諦めずにがんばってください。

本校では毎年2回、中学3年生を対象に「入試問題説明会」を開催しています。この説明会では問題の解説や学習のアドバイスを行っています。本校受検をお考えの方は参加してみてください。(詳細は本校HPに掲載します。)

Q13. 「普通科」の【一般推薦】や「創造理数科」の【特別推薦】に不合格となった場合、「普通科」と「創造理数科」の【学力検査に基づく選抜】の可否に影響はありますか。

A13. 可否の判定は別々に行うので、影響は全くありません。

Q14. 【学力検査に基づく選抜】で、「普通科」と「創造理数科」を併願し、創造理数科を不合格になって、普通科に合格した場合、創造理数科を不合格になったことを周囲に知られてしまうことはありますか。

A14. ありません。自分で言わない限り知られてしまうことはありません。

Q15. インターネット出願について教えてください。

A15. 東京都教育委員会からの発表をお待ちください。

(参考)「令和8年度東京都立高等学校入学者選抜におけるインターネットを活用した出願について」 (更新日: 令和7年(2025年)12月1日)

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/high_school_application2026_20251201_05

Q16. 東京都中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)の結果の活用について教えてください。

A16. 東京都教育委員会のwebページをご覧ください。

(参考)東京都教育委員会のwebページ「中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)」をご覧ください。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/global/esat-j>